

インストールガイド

AXIS P5512 PTZ ドームネットワークカメラ

日本語

法律上の注意事項

ビデオまたは音声監視は法律によって禁止されている場合があります、その内容は国によって異なります。本製品を監視用途でご利用になる前に、ご利用頂く地域の法律を確認してください。本製品には H.264 デコーダー用のライセンスが 1 つ含まれています。追加ライセンスのご購入については、Axis 製品の販売店にお問い合わせください。

電波に関する適合性 (EMC)

本装置は無線周波数を発生、使用、また放射する可能性があるため、指示通りに設置および使用されていない場合は、無線通信に有害な妨害をもたらす恐れがあります。ただし、特定の設置で妨害が生じないという保証はありません。

本装置がラジオおよびテレビ受信機に対して有害な妨害をもたらし、本装置の電源の入/切を行うことによって本装置が原因であると確認できた場合は、次の 1 つまたはそれ以上の措置にしたがって妨害を是正してください。受信アンテナの方向または位置を変更する。本装置と受信機の間隔を広げる。本装置を、受信機が接続されているものとは異なる電源に接続する。販売店または経験豊富なラジオ / テレビ技術者に相談する。EMC 基準に準拠するには、本装置と一緒にシールド付き (STP) ネットワークケーブルを使用する必要があります。

米国 - This equipment has been tested and found to comply with the limits for a Class B computing device pursuant to Subpart B of Part 15 of FCC rules, which are designed to provide reasonable protection against such interference when operated in a commercial environment. Operation of this equipment in a residential area is likely to cause interference, in which case the user at his/her own expense will be required to take whatever measures may be required to correct the interference.

カナダ - This Class B digital apparatus complies with Canadian ICES-003

欧州 - This digital equipment fulfills the requirements for radiated emission according to limit B of EN55022, and the requirements for immunity according to EN55024 residential and commercial industry.

日本 - この装置は、情報処理装置等電波障害自主規制協議会 (VCCI) の基準に基づくクラス B 製品です。この装置を家庭環境でラジオやテレビ受信機に近接して使用すると、無線妨害を引き起こすことがあります。取扱説明書にしたがって正しく設置し、使用してください。

オーストラリア - This electronic device meets the requirements of the Radio communications (Electromagnetic Compatibility) Standard AS/NZS CISPR22:2002.

韓国 - Class B: As this equipment has obtained EMC registration for household use, it can be used in any area including residential areas.

安全

EN 60950-1 (IEC 60950-1) Safety of Information Technology Equipment (情報処理装置等の安全規格) に適合しています。

装置の改造

本装置は、必ず本書やユーザーズマニュアルの手順にしたがって設置および使用してください。本装置には、ユーザーが交換や修理を行える部品は含まれていません。無許可で装置を変更したり、改造したりした場合、適用されている規制証明や認可がすべて無効になります。

責任

本書の制作には細心の注意を払っていますが、不正確な記述や脱落、乱丁または落丁を見つけれなかった場合は、最寄りの Axis 事業所までご連絡ください。また Axis Communications AB は、技術的な間違いや誤字・脱字などに対して責任を持たず、予告なく製品や文書の記載内容に対して変更、修正を行う権利を保持します。Axis Communications AB は、本書に含まれる内容について、商用性および製品の特定用途に対する適性についての黙示的な保証を含め、一切保証を行いません。Axis Communications AB は、この資料の提供、パフォーマンス、使用に関連した付随的または結果的な損害に対して責務および責任を負いません。

RoHS

本製品は、欧州 RoHS 指令 (2002/95/EC) および中国 RoHS 指令 (ACPEIP) に適合しています。



WEEE 指令

欧州連合では、電気および電子装置廃棄物についての指令 2002/96/EC (WEEE 指令) を導入しました。この指令は、欧州連合加盟国に適用されます。



本製品またはその資料の WEEE マーク (右側を参照) は、家庭のゴミと一緒にこの製品を捨ててはならないことを示しています。人間の健康および / または環境への害を防止するために、本製品は承認を受けた環境的に安全なリサイクルプロセスで処分することが必要です。本製品を正しく処分する方法については詳しくは、製品のサプライヤーまたは貴地域でのゴミ処理を担当する地域当局にご連絡ください。業務ユーザーの方は、本製品の正しい処分方法について、製品のサプライヤーまでご連絡ください。本製品は、他の産業廃棄物と混合しないでください。

サポート

技術サポートが必要な場合は、Axis 製品の販売店にお問い合わせください。Axis 販売店がおお客様のご質問にすぐにご回答できない場合は、適切な部門に転送し、早急にご回答いたします。インターネットをご利用の場合は、次のことが行えます。

- ユーザーズマニュアルやファームウェアの更新をダウンロードする。
- FAQ データベースで問題の解決方法を見つける。製品別、カテゴリ別、または語句を使用して検索する。
- 専用サポートエリアにログインして、Axis サポートに問題を報告する。

AXIS P5512 は 3.0V CR2032 リチウムバッテリーを使用しています。詳細については、29 ページを参照してください。

安全確保

製品をインストールする前に本インストールガイドをよくお読みください。インストールガイドは今後参照するために保管しておいてください。

⚠ 警告！

- Axis 製品を輸送する場合には、製品が損傷するのを防ぐために元の梱包または類似した梱包を使用してください。
- Axis 製品を保管する際には、乾燥した換気のよい環境で行ってください。
- 製品が損傷する可能性があるため、振動、衝撃または強い圧力が製品にかからないようにし、カメラを不安定なブラケット、不安定または振動する場所や壁に取り付けしないでください。
- Axis 製品を取り付ける際は、手動工具のみを使用してください。電動工具を使用したり、過剰な圧力をかけると製品が損傷することがあります。
- 化学薬品、腐食剤、エアゾールクリーナーは使用しないでください。清掃する場合には湿った布を使用してください。
- 製品の技術仕様に準拠したアクセサリのみを使用してください。このようなアクセサリは Axis またはサードパーティから購入できます。
- Axis が提供または推奨する交換部品のみを使用してください。
- 製品を自分で修理しないでください。修理に関しては Axis または Axis 販売店にお問い合わせください。

⚠ 重要！

- 本 Axis 製品は、お使いになる国・地域の法律および規制にしたがって使用してください。
- 本 Axis 製品を屋外で使用する場合は、専用のハウジングを利用して設置を行ってください。

バッテリーの交換

本 Axis 製品は、内部のリアルタイムクロック (RTC) 用電源として 3.0V CR2032 リチウムバッテリーを使用しています。通常、このバッテリーは最低 5 年間使用できます。バッテリーが低電力の状態になると、RTC の動作に影響し、電源オンのたびにリセットされます。バッテリーの交換が必要になった場合、ログメッセージが表示されます。バッテリーは、このように必要な場合以外には交換しないでください。

バッテリーの交換が必要になったときは、www.axis.com/techsup を参照してください。

- バッテリーは、正しく交換しないと爆発する危険があります。
- メーカーが推奨する同じバッテリーまたは同等のバッテリーのみと交換してください。
- 使用済みバッテリーを廃棄する際は、メーカーの指示にしたがって処分してください。

ドームカバーの掃除

- ドームカバーに傷が付いたり破損しないように、注意して取り扱ってください。肉眼で見ても汚れがない場合は掃除しないでください。また、絶対に表面を磨かないでください。過度な清掃により、表面が破損することがあります。
- 一般的なドームカバーの掃除には、研磨剤が含まれない無溶媒の中性石鹼または洗剤と水、柔らかい布を使用することをお勧めします。きれいなぬるま湯でよくすすいでください。ウォータースポットを防ぐため、柔らかい布でふき乾かしてください。
- 強力な洗剤、ガソリン、ベンジン、アセトンなどは絶対に使用しないでください。また、直射日光が当たる場所や気温が上昇する場所での清掃は避けてください。

AXIS P5512 インストールガイド

このインストールガイドでは、AXIS P5512 PTZ ドームネットワークカメラ（以下、ネットワークカメラ）をお使いのネットワークにインストールする手順について説明しています。ネットワークカメラの設定などに関する説明については、ユーザーズマニュアルを参照してください。ユーザーズマニュアルは、製品に付属の CD または Axis のホームページ（www.axiscom.co.jp）からご覧いただけます。

インストール手順

1. 下のリストで、パッケージの内容を確認してください。
2. ハードウェアの概要。7 ページを参照してください。
3. ハードウェアを設置します。
 - 9 ページを参照して設置の準備を行います。
 - 天吊り型取付方法については、11 ページを参照してください。
 - 埋め込み型取付方法については、12 ページを参照してください。
 - ブラケット（オプションのアクセサリ）を使用する取付方法については、14 ページを参照してください。
4. IP アドレスを設定します。15 ページを参照してください。
5. パスワードを設定します。18 ページを参照してください。

重要！

本製品はお使いになる国の法律および規制にしたがって使用してください。

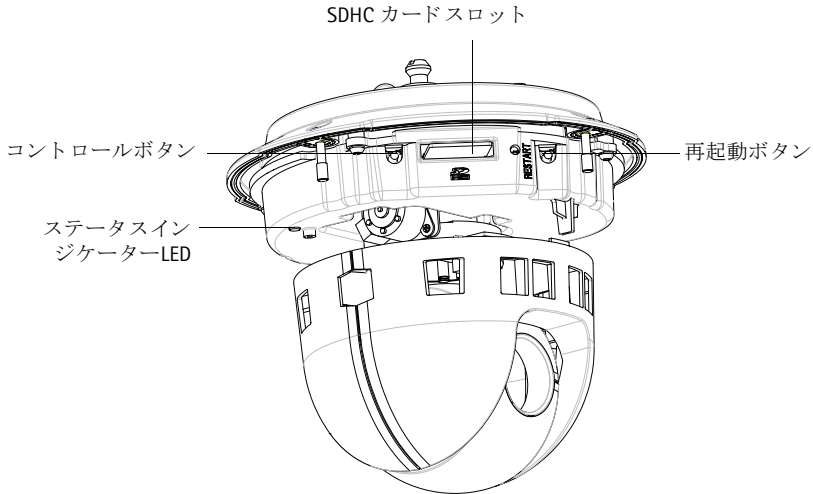
① パッケージの内容

品目	モデル / 型 / 説明
ネットワークカメラ	AXIS P5512
ドームカバー	クリア（透明）カバー（取付済み） スモーク（半透明）カバー
取付キット	天吊り型取付および埋め込み型取付キット トルクドライバー
CD	AXIS ネットワークビデオ製品 CD（製品マニュアル、インストールツール、その他のソフトウェアを含む）
印刷物	AXIS P5512 ネットワークカメラインストールガイド（本書）、 Axis 保証書、ドリル用プレート、予備のシリアル番号ラベル（2 枚）、 AVHS 認証キー

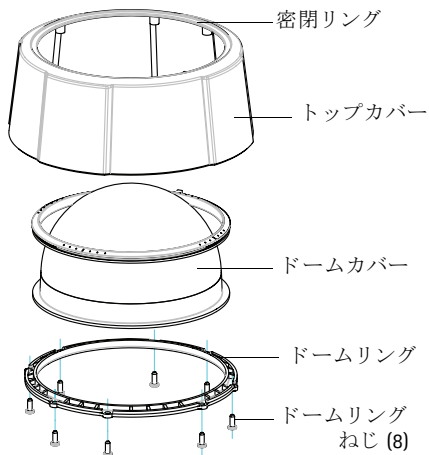
品目	モデル / 型 / 説明
オプションのアクセサリ	AXIS T91A 取付用アクセサリ 入出力 (I/O)、音声、電源接続用マルチコネクターケーブル 電源用アクセサリおよび屋外ハウジングについては、 www.axiscom.co.jp を参照してください。

② ハードウェアの概要

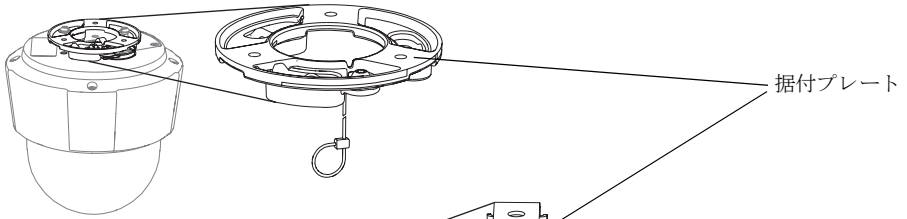
カメラユニット



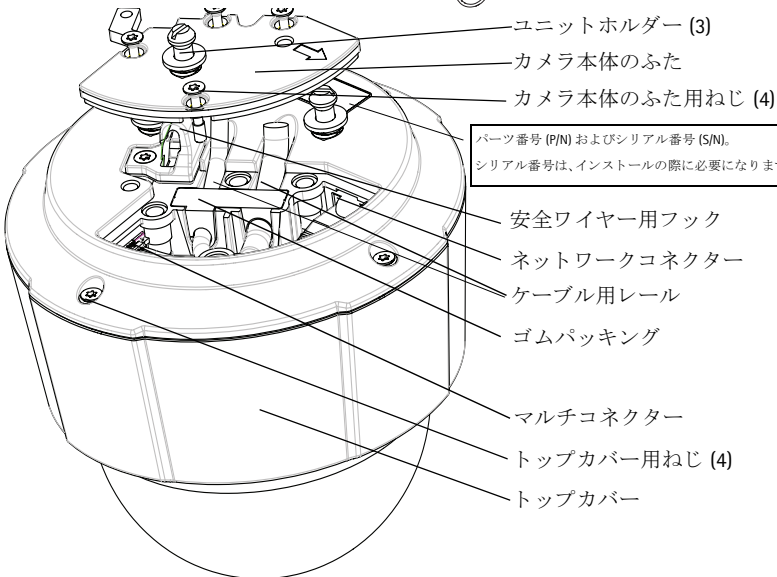
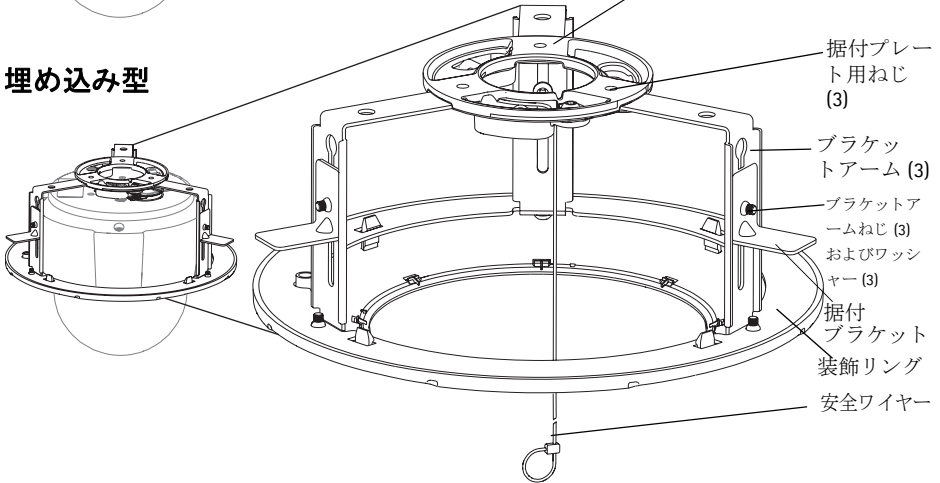
ドームカバー



天吊り型



埋め込み型



パーツ番号 (P/N) およびシリアル番号 (S/N)。
シリアル番号は、インストールの際に必要になります。

3 ハードウェアの設置

- !** 重要! - AXIS P5512 を屋外で使用する場合は、サポート対象の屋外ハウジングを利用して設置を行ってください。屋外ハウジングの詳細については、www.axiscom.co.jp を参照してください。

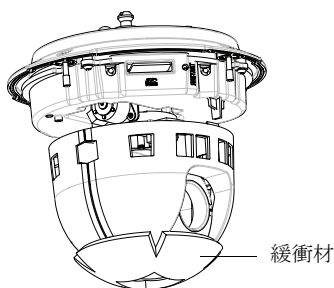
設置の準備

手順では、トップカバーを取り外すことが必要なステップが複数あるため、これらのステップを同時に行えるようすべての手順をよく読んでから AXIS P5512 の取付準備を行ってください。

- カメラの取付前に緩衝材を取り除きます (以下の指示を参照してください)。
- ドームカバーを交換するには、クリア/半透明ドームカバーを交換する (オプション), ページ 10 を参照してください。
- トップカバーを取り外し、SD カードを取り付けるには、SD カードを取り付ける (オプション), ページ 10 を参照してください。

緩衝材を取り除く

1. トップカバーのねじ 4 本を緩めて、トップカバーを取り外します。8 ページの図を参照してください。
2. 緩衝材を取り除きます。



3. クリアまたはスモークのドームカバーを交換したり、SD カードを取り付ける場合は、10 ページの手順にしたがってください。
4. トップカバーを元の位置に配置し、対角にある 2 本のネジをまず締め (トルク <math>< 0.7 \text{ Nm}</math>)、その後に残り 2 本のネジを締めます。

クリア / 半透明ドームカバーを交換する (オプション)

1. トップカバーのねじ 4 本を緩めて、トップカバーを取り外します。8 ページの図を参照してください。
2. ドームリングのねじ 8 本を取り外し、トップカバーからドームリングを取り外します。
3. ドームリングとドームカバーをトップカバーに取り付け、ねじ 8 本を締めて固定します (トルク < 0.45 Nm)。
4. SD カードを取り付ける場合は、以下の SD カードを取り付ける (オプション) の手順を参照してください。
5. トップカバーを元の位置に配置し、対角にある 2 本のネジをまず締め (トルク < 0.7 Nm)、その後に残り 2 本のネジを締めます。

注意：

ドームカバーに傷が付いたり破損しないように、注意して取り扱ってください。
ドームカバーをカメラユニットに取り付ける前に、柔らかい布で汚れを拭き取ってください。

SD カードを取り付ける (オプション)

1. トップカバーのねじ 4 本を緩めて、トップカバーを取り外します。8 ページの図を参照してください。
2. SD カード (別売) を SDHC (Secure Digital High Capacity) カードスロットに挿入します。
3. トップカバーを元の位置に取り付け、ねじを締めます。

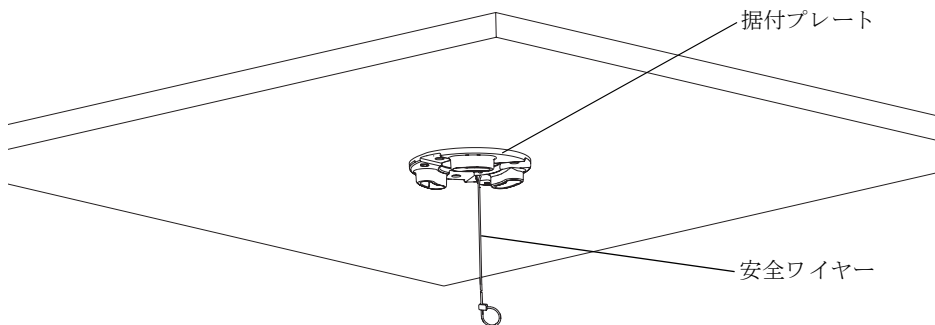
注意：

SD カードは、SDHC カードスロットに挿入されると、自動的にマウントされます。ただし、SD カードを取り出す前には、カメラの Web ページ上でマウント解除を行ってください。[Setup (セットアップ)] > [System Options (システムオプション)] > [Storage (ストレージ)] > [SD Card (SD カード)] ページの [Unmount (マウント解除)] ボタンをクリックします。詳細については、本製品付属の AXIS ネットワークビデオ製品 CD 収録のユーザーズマニュアルを参照してください。または、www.axiscom.co.jp の Web サイトをご覧ください。

天吊り型

据付プレートを取り付けるには、次のように行います。

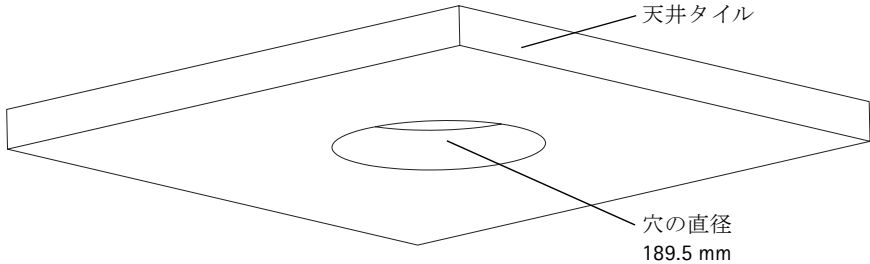
1. 付属のドリルテンプレートを使って穴を配置します。天井の材質に適したドリルビット、ねじ、およびプラグを使用してください。
2. 据付プレートを取り付けます。



3. カメラ本体のふた用ねじ 4 本を緩めて、カメラ本体のふたを取り外します。8 ページの図を参照してください。
4. ネットワークケーブルとマルチコネクターケーブル (必要な場合) を配線して、ネットワークカメラに接続します。接続する際にケーブルが破損しないように、注意して取り扱ってください。ゴムパッキングの穴がケーブルレールの位置と合っているか確認してください。必要な場合は、ゴムパッキングからマルチコネクターケーブル用の切り取り部分を取り外してください。
5. カメラ本体のふたを元の位置に取り付け、ねじを締めます。
6. 付属の安全ワイヤーを使用して、カメラをしっかりと固定します。
7. ネットワークカメラのユニットホルダーを据付プレートの溝穴に滑り込ませ、カメラユニットを回転させます。

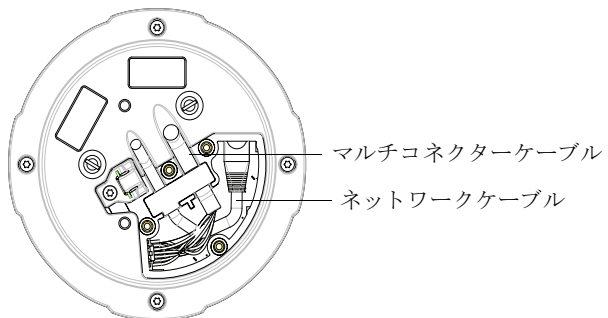
埋め込み型

1. 埋め込み型取付を行う天井タイルを取り外します。
2. 付属のテンプレートを使用して、天井タイルの 189.5 mm の穴の位置にマークを付けます。テンプレートに沿って天井タイルを切り取ります。



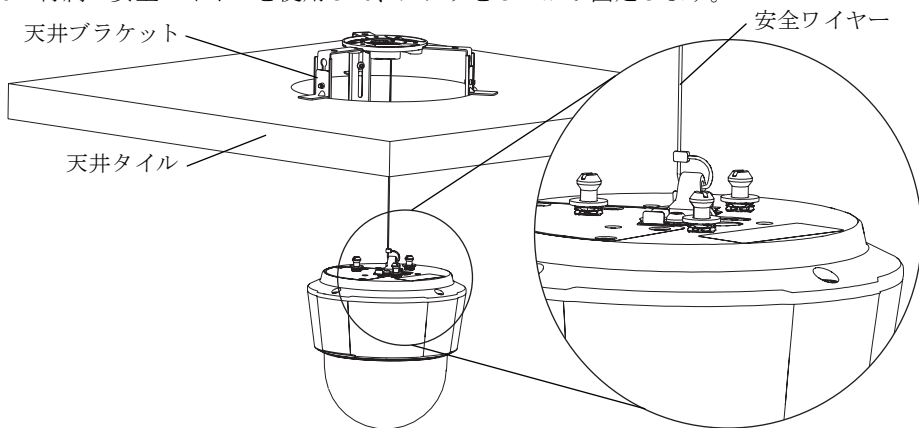
注意：

- カメラと天井取付部品の総重量は、約 2.3 kg です。天井の素材にこの重量を十分に支えられる強度があることを確認してください。
 - 天井タイルの厚みは 5 mm ~ 60 mm である必要があります。
3. 天井ブラケットを組み立てます。
 4. 天井ブラケットを天井タイルの穴に通します。13 ページの図を参照してください。
 5. トルクス 20 のドライバーを使用して、ブラケットアームのねじを締めます。
 6. カメラ本体のふた用ねじ 4 本を緩めて、カメラ本体のふたを取り外します。8 ページの図を参照してください。
 7. ケーブルパッキングを取り外し、ネットワークケーブルを配線します。マルチコネクタケーブルがある場合は、ケーブルパッキングからケーブルプラグを取り外して配線します。ネットワークカメラに接続する際にケーブルが破損しないように注意してください。

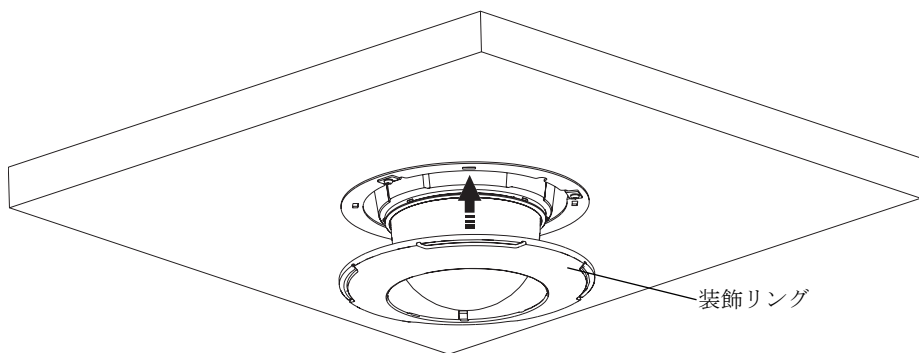


8. カメラ本体のふたを元の位置に取り付け、ねじを締めます。

9. 付属の安全ワイヤーを使用して、カメラをしっかり固定します。

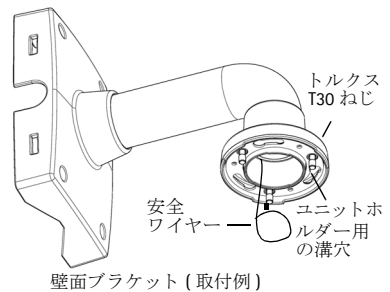


10. ネットワークカメラのユニットホルダーを据付プレートの溝穴に滑り込ませ、カメラユニットを回転させます。
 11. カメラを取り付けた天井タイルを天井に戻します。
 12. 天井ブラケットと装飾リングの位置合わせをし、しっかりはめ込みます。



ブラケット (オプションのアクセサリ) を使用する取付

1. 選択したブラケットを、ブラケットに付属の取扱説明書にしたがって取り付けます。穴開けが必要な場合は、素材に適したドリルビット、ねじ、およびプラグを使用してください。
2. カメラ本体のふた用ねじ 4 本を緩めて、カメラ本体のふたを取り外します。8 ページの図を参照してください。
3. ネットワークケーブルとマルチコネクタケーブル (必要な場合) を、取り付けしたブラケットの穴を通して配線します。
4. カメラをブラケットの安全ワイヤーに引っ掛けます。
5. ネットワークケーブルとマルチコネクタケーブル (必要な場合) をネットワークカメラに接続します。
6. カメラ本体のふたを元の位置に取り付けます。
7. ネットワークカメラのユニットホルダーをブラケットの溝穴に滑り込ませ、カメラユニットを回転させます。
8. 3 本のねじ (トルクス T30) を締め付け、取り付けしたブラケットにネットワークカメラを固定します。





4 IP アドレスの設定

現在、ほとんどのネットワークでは、DHCP サーバーを使用して自動的に接続デバイスに IP アドレスを割り当てています。ネットワークに DHCP サーバーが導入されていない場合、ネットワークカメラは、192.168.0.90 をデフォルトの IP アドレスとして使用します。

固定 IP アドレスを設定したい場合、Windows をご使用の場合は **AXIS IP Utility** または **AXIS Camera Management** のいずれかの使用をお勧めしています。設置するカメラの台数に応じて、目的に最も合った手段をお選びください。

これらはいずれも無償のアプリケーションで、製品に付属する AXIS ネットワークビデオ製品 CD に収録されています。また、Axis のホームページ www.axiscom.co.jp からダウンロードしてご利用いただけます。

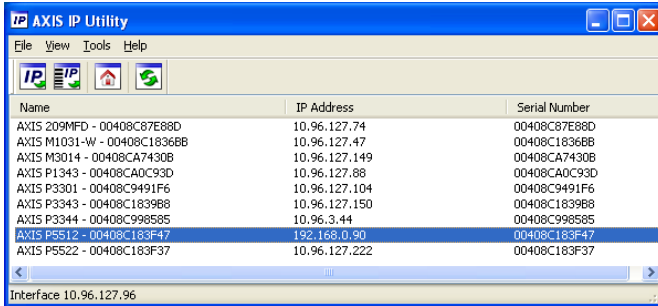
使用できる手段	推奨されるカメラ設置環境	オペレーティングシステム
 AXIS IP Utility 16 ページ参照	1 台のカメラ 小規模インストール	Windows
 AXIS Camera Management 17 ページ参照	複数台のカメラ 大規模インストール 別のサブネット上でのインストール	Windows 2000 Windows XP Pro Windows 2003 Server Windows Vista Windows 7

注意：

- IP アドレスの設定が行えない場合は、ファイアウォールによって設定が妨げられていないかどうか確認してください。
- 他の OS を使用する場合など、その他の IP アドレスの設定および検出方法については、21 ページを参照してください。

AXIS IP Utility - 1 台のカメラ / 小規模インストール向き

AXIS IP Utility は、ネットワーク上の Axis デバイスを自動的に検出して表示します。また、このアプリケーションでは手動で固定 IP アドレスを設定することができます。




ネットワークカメラは、AXIS IP Utility が動作しているコンピューターと同じネットワークセグメント (物理サブネット) に接続されていることが必要です。

自動検出機能

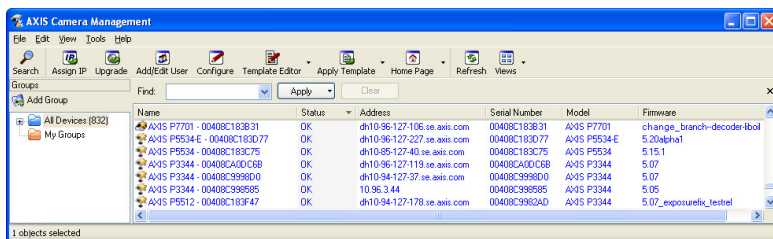
1. ネットワークカメラがネットワークに接続され、電源が入っていることを確認します。
2. AXIS IP Utility を起動します。
3. カメラがウィンドウに表示されたら、それをダブルクリックしてホームページを開きます。
4. パスワードの設定方法については、18 ページを参照してください。

IP アドレスを手動で設定する (オプション)

1. コンピューターと同じネットワークセグメント上で、未使用の IP アドレスを入手します。
2. リストでネットワークカメラを選択します。
3. [Assign new IP address to the selected device (選択したデバイスに新しい IP アドレスを設定)] ボタン  をクリックして、IP アドレスを入力します。
4. [Assign (シリアル番号を利用して IP アドレスを設定)] をクリックし、画面の指示にしたがいます。新しい IP アドレスを設定するには、2 分以内にカメラを再起動する必要があります。
5. [Home Page (デバイスのホームページを表示)] をクリックして、カメラの Web ページにアクセスします。
6. パスワードの設定方法については、18 ページを参照してください。

AXIS Camera Management - 複数台のカメラ / 大規模インストール向き


AXIS Camera Management は複数の Axis デバイスを自動的に検出し、接続ステータスの表示、ファームウェアのアップグレード、IP アドレスの設定などを行うことができるソフトウェアです。



自動検出機能

1. カメラがネットワークに接続され、電源が入っていることを確認します。
2. AXIS Camera Management を起動します。ウィンドウにネットワークカメラが表示されたら、リンクを右クリックして、[Live View Home Page (ライブ表映像ホームページ)] を選択します。
3. パスワードの設定方法については、18 ページを参照してください。


1 台のデバイスの IP アドレスを設定する

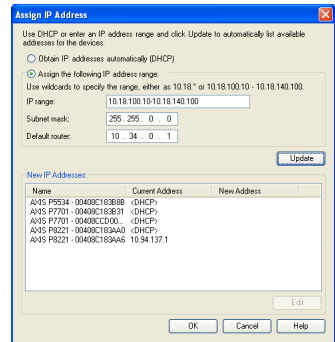
1. AXIS Camera Management でネットワークカメラを選択し、[Assign IP (IP 設定)] ボタン  をクリックします。
2. [Assign the following IP address (次の IP アドレスを設定)] を選択し、デバイスに設定する IP アドレス、サブネットマスク、デフォルトルーターの値を入力します。
3. [OK] をクリックします。



複数台のデバイスの IP アドレスを設定する

AXIS Camera Management を利用すると、特定の IP アドレスの範囲を指定することにより複数台のデバイスにまとめて IP アドレスを設定でき、設定作業を迅速化することができます。

1. 設定したいデバイスを選択し (異なるモデルも選択可能)、[Assign IP (IP 設定)] ボタン  をクリックします。
2. [Assign the following IP address range (次の IP アドレス範囲を設定)] を選択し、デバイスに設定する IP アドレスの範囲、サブネットマスク、デフォルトルーターの値を入力します。
3. [Update (更新)] ボタンをクリックします。設定される IP アドレスが [New IP Addresses (新しい IP アドレス)] の下に一覧表示されます。この一覧を編集するには、デバイスを選択して [Edit (編集)] をクリックします。
4. [OK] をクリックします。



5 パスワードの設定

製品にアクセスするには、まずデフォルトの管理者 **root** 用のパスワードを設定する必要があります。この設定は、ネットワークカメラに初めてアクセスしたときに表示される、[Configure Root Password (ルートパスワードを設定)] ダイアログで行います。

root パスワード設定時にネットワーク上で盗聴されるのを防ぐために、パスワードの設定は暗号化された HTTPS 接続を使用して行うことができますが、この場合には HTTPS 証明書が必要です。

注意： HTTPS (Hypertext Transfer Protocol over SSL) は Web ブラウザーとサーバー間のトラフィックを暗号化するためのプロトコルです。HTTPS 証明書は暗号化された情報の受け渡しをコントロールします。

標準 HTTP 接続でパスワードを設定するには、以下の最初のダイアログに直接入力してください。

暗号化された HTTPS 接続経由でパスワードを設定するには、次の手順にしたがってください。

1. [Create self-signed certificate (自己署名の証明書を作成)] ボタンをクリックします。
2. 必要な情報を入力して [OK] をクリックします。証明書が作成され、これでパスワードを安全に設定できます。この時点から、ネットワークカメラとの間で送受信されるすべてのデータトラフィックが暗号化されます。

3. パスワードを入力し、スペルミスがないかを確認するために再入力します。[OK] をクリックします。これでパスワードの設定が完了しました。

HTTPS 接続を確立するには、このボタンをクリックして開始します。

User name: root

Password:

Confirm password:

OK

The password for the pre-configured administrator root must be changed before the product can be used.

If the password for root is lost, the product must be reset to the factory default settings, by pressing the button located in the product's casing. Please see the user documentation for more information.

暗号化されていない接続経由でパスワードを設定する場合は、ここにパスワードを入力します。

4. ログインするには、ダイアログの要求にしたがってユーザー名 "root" を入力します。
注意 : デフォルトの管理者ユーザー名 root は削除できません。
5. 上記の手順で設定したパスワードを入力し、[OK] をクリックします。
注意 : パスワードを忘れてしまった場合、カメラを工場出荷時設定にリセットする必要があります。26 ページを参照してください。

ビデオストリームにアクセスする

ネットワークカメラの [Live View (ライブ ビュー)] ページが表示されます。ここでは Setup (セットアップ) ツールへのリンクがあり、このリンクを使用してカメラをカスタマイズできます。

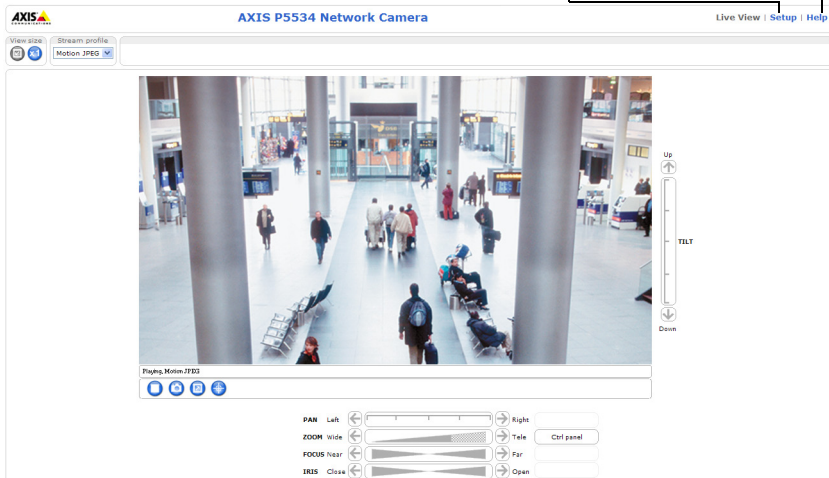
必要な場合、[Yes (はい)] をクリックして AMC (AXIS Media Control) をインストールすると、Internet Explorer でビデオストリームを表示できます。これを実行するには、コンピュータの管理者権限が必要です。

必要に応じてリンクをクリックし、足りないデコーダーをインストールしてください。

注意 : Windows 7/Windows Vista 環境に AMC をインストールするには、管理者権限で Internet Explorer を実行する必要があります。[Internet Explorer] アイコンを右クリックし、[管理者として実行] を選択します。

Setup (セットアップ) - お客様の要件にしたがってカメラを設定するために必要なすべてのツールを提供します。

Help (ヘルプ) - カメラの使用に関する総合的なオンラインヘルプが表示されます。



IP アドレスのその他の設定方法

次の表では、その他の IP アドレスの設定または検出方法を説明しています。すべての方法はデフォルトで有効になっていますが、無効にすることもできます。

	対応オペレーティングシステム	説明
AVHS サービス接続	すべて	カメラを AVHS サービスに接続するには、サービスプロバイダーのインストールガイドを参照してください。最寄りの AVHS サービスプロバイダーについての情報や検索方法については、 www.axis.com を参照してください。
UPnP™	Windows	コンピューターで有効になっている場合は、カメラが自動的に検出され、[My Network Places (マイ ネットワーク)] に追加されます。
Bonjour	Mac OS X (10.4 以降)	Bonjour に対応したブラウザで使用できます。ブラウザ (Safari など) の Bonjour ブックマークに移動し、リンクをクリックしてカメラの Web ページにアクセスします。
AXIS Dynamic DNS Service	すべて	Axis が無償で提供しているサービスで、カメラをすばやく簡単にインストールできます。利用するには、HTTP プロキシを使用していないインターネット接続が必要です。詳細については、 www.axiscam.net を参照してください。
ARP/Ping	すべて	以下を参照してください。コマンドの実行は、カメラに電源を接続してから 2 分以内に行う必要があります。
DHCP	すべて	DHCP サーバーの管理ページを表示する方法については、サーバーのマニュアルを参照してください。

ARP/Ping を使用して IP アドレスを設定する

1. コンピューターが接続されているネットワークセグメント上で IP アドレスを入手します。
2. カメラの製品ラベルに表示されているシリアル番号 (S/N) を見つけます。
3. コンピューター上でコマンドプロンプトを開き、以下のコマンドを入力します。

Windows での構文 :	Windows での例 :
arp -s <IP アドレス> <シリアル番号> ping -l 408 -t <IP アドレス>	arp -s 192.168.0.125 00-40-8c-18-10-00 ping -l 408 -t 192.168.0.125
UNIX/Linux/Mac での構文 :	UNIX/Linux/Mac での例 :
arp -s <IP アドレス> <シリアル番号> temp ping -l 408 <IP アドレス>	arp -s 192.168.0.125 00:40:8c:18:10:00 temp ping -l 408 192.168.0.125

4. ネットワークケーブルがカメラに接続されていることを確認します。次に、電源を入れ直してカメラを起動 / 再起動します。
5. 画面上に 'Reply from 192.168.0.125:...' などの応答メッセージが表示されたら、コマンドプロンプトを閉じます。
6. ブラウザーのロケーション / アドレスフィールドに「http://<IP アドレス>」を入力し、キーボードで Enter キーを押します。

注意 :

- Windows でコマンドプロンプトを開くには、[スタート] メニューから [ファイル名を指定して実行 ...] を選択し、「cmd」を入力してから、[OK] をクリックします。
- Windows 7 または Windows Vista で ARP コマンドを使用するには、コマンドプロンプトのアイコンを右クリックし、[管理者として実行] を選択します。
- Mac OS X で ARP コマンドを使用するには、[Application (アプリケーション)] > [Utilities (ユーティリティ)] で Terminal ユーティリティを使用します。

ユニットコネクター

ネットワークコネクター - 一般的な RJ-45 イーサネットコネクター。High PoE (Power over Ethernet、IEEE 802.3at) に対応。EMC に準拠するよう、シールド付きケーブルを使用してください。

マルチコネクター - マルチコネクターケーブル (別売)、ページ 24 を参照 - 以下の外部機器を接続するためのターミナルコネクター:

- 音声機器
- 入出力 (I/O) デバイス
- AC/DC 電源

外部機器を AXIS P5512 に接続するには、IP51 規格準拠を維持するために、マルチコネクターケーブルが必要です。マルチコネクターケーブルは、Axis 製品の販売店で購入できます。詳細については、本製品付属の AXIS ネットワークビデオ製品 CD 収録のユーザーズマニュアルを参照してください。または、www.axiscom.co.jp の Web サイトをご覧ください。

SDHC カードスロット - ネットワークカメラ内で画像を保存するには、標準または大容量の SD カード (別売) が必要になります。SD カードを挿入または取り出す際は、カメラのトップカバーを取り外す必要があります。詳しくは、SD カードを取り付ける (オプション)、ページ 10 を参照してください。

注意:

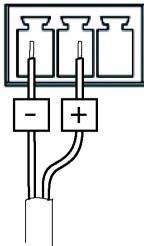
SD カードを取り出す前には、記録されたデータの破損を防ぐため、必ず SD カードをマウント解除してください。SD カードのマウントを解除するには、[Setup (セットアップ)] > [System Options (システム オプション)] > [Storage (ストレージ)] > [SD Card (SD カード)] の [Unmount (マウント解除)] ボタンをクリックします。詳細については、本製品付属の AXIS ネットワークビデオ製品 CD 収録のユーザーズマニュアルを参照してください。または、www.axiscom.co.jp の Web サイトをご覧ください。

マルチコネクタケーブル (別売)

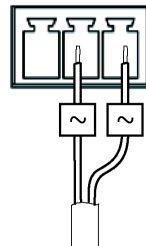
外部機器を AXIS P5512 に接続するには、カメラの IP51 規格準拠を維持するために、マルチコネクタケーブルが必要です。マルチコネクタケーブルは、Axis 製品の販売店で購入できます。

マルチコネクタケーブルをカメラのマルチコネクタに接続します。8 ページの図と 11 ページおよび 12 ページの手順を参照してください。ケーブルには次のコネクタがあります。

電源コネクタ - 電源入力に使用する 3 ピンのターミナルブロック。



DC 電源入力: 24 ~ 34 V DC
AXIS P5512:15.7W (最大)

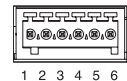


AC 電源入力、20 ~ 24 V AC
AXIS P5512:23.5W (最大)

音声入力 (ピンク) - モノラルマイクロフォン、またはラインインモノラル信号 (ステレオ信号から左チャンネルを使用) を接続できます。3.5 mm ジャック。

音声出力 (緑) - 場内放送設備やアンプ内蔵のアクティブスピーカーに接続できる音声出力 (ラインレベル)。3.5 mm ジャック。また、ヘッドフォンを接続することもできます。この端子への接続には、ステレオコネクタを使用してください。

I/O ターミナルコネクタ - 動体検知、イベントトリガー、録画、アラーム通知などのアプリケーションで使用。I/O ターミナルコネクタには、補助電源や GND ピンのほかに、入力または出力のどちらかに設定できるピンが 4 つあります。これらのピンは以下の機能に対するインターフェースを提供します。



- デジタル出力 - リレーや LED などの外部デバイスを接続します。接続したデバイスは、VAPIX® API (アプリケーションプログラミングインターフェース)、[Live View (ライブ表示)] ページの出力ボタン、または [Event Type (イベントタイプ)] で動作させることができます。アラームデバイスが起動されると、出力は active (アクティブ) と表示されます ([Events (イベント)] > [Port Status (ポートステータス)] の下に表示)。

- デジタル入力 - オープンサーキットとクローズサーキットの切り替えが可能なデバイスを接続するためのアラーム入力。たとえば、PIR、ドア / 窓の接触、ガラス破壊検知などです。信号を受け取ると、状態が変化して入力が active (アクティブ) になります ([Event (イベント)] > [Port Status (ポートステータス)] の下に表示)。

機能	ピン	説明	製品仕様
GND	1	グラウンド	
3.3 V DC 電源	2	補助デバイスに電源を供給することができます。 注意: このピンは電源出力のみとして使用してください。	最大負荷 = 250 mA
設定可能 (入力または出力)	3-6	デジタル入力 - 動作させるには GND に接続します。動作しないようにする場合はフロート状態 (未接続) にしてください。	0 ~ +40 V DC
		デジタル出力 - アクティブにした場合にグラウンドに内部接続、アクティブでない場合はフロート状態 (未接続)。 外部リレーで使用する場合は、電圧過度現象に対する保護のためにダイオードを負荷と並行に接続する必要があります。	最大負荷 = 100 mA 最大電圧 = +40 V DC

AXIS P5512 スタータスインジケータ

色	説明
消灯	安定接続、通常動作時
オレンジ色	システム初期化または工場出荷時設定へのリセット時に点灯、ファームウェアのアップグレード中に点滅
オレンジ色および赤色	ネットワークに接続されていません
赤色	ファームウェアのアップグレードに失敗
緑色	正常に再起動した後 10 秒間点灯

注意:

AXIS P5512 のスタータスインジケータの詳細については、本製品付属の AXIS ネットワークビデオ製品 CD 収録のユーザーズマニュアルを参照してください。または、www.axiscom.co.jp の Web サイトをご覧ください。

工場出荷時設定へのリセット

カメラを工場出荷時設定にリセットするには、以下の説明のようにカメラの側面にあるコントロールボタンと再起動ボタンを使用します。ボタンの位置については、ハードウェアの概要、ページ 7 を参照してください。

コントロールボタンと再起動ボタンを使用してリセットを行うと、IP アドレスを含むすべてのパラメータが工場出荷時設定にリセットされます。

1. 緩衝材を取り除く、ページ 9 を参照して、トップカバーを取り外します。
2. コントロールボタンと再起動ボタンを同時に押したままにします。
3. 再起動ボタンから手を離し、コントロールボタンは押したままにします。
4. ステータスインジケーターがオレンジ色に変わるまで、コントロールボタンを押したままにします (約 15 秒程かかります)。
5. コントロールボタンを離します。
6. ステータスインジケーターが緑色に変化したら (1 分ほどかかる場合があります)、カメラのリセットは完了です。これでユニットの IP アドレスがデフォルトの 192.168.0.90 になりました。
7. トップカバーを元の位置に取り付けます。
8. IP アドレスを設定し直すには、*IP アドレスの設定*、ページ 15 で説明した方法で行ってください。

パラメータを工場出荷時設定にリセットするには、Web インターフェースを使用することもできます。詳細については、オンラインヘルプまたは本製品付属の AXIS ネットワークビデオ製品 CD 収録のユーザーズマニュアルを参照してください。

インターネットを経由してカメラにアクセスする

インストールが完了すると、お使いのローカルネットワーク (LAN) でネットワークカメラにアクセスできるようになります。インターネットを経由してカメラにアクセスする場合は、受信トラフィックを受け入れるようネットワークルーターを設定する必要があります (通常、特定のポートで行います)。

- 閲覧と設定を行う場合は、HTTP ポート (デフォルトポート : 80)
- H.264 ビデオストリームを閲覧する場合は、RTSP ポート (デフォルトポート : 554)

詳しくは、お使いのルーターのマニュアルを参照してください。この他のトピックについて詳しくは、Axis のサポートサイト (www.axis.com/techsup) を参照してください。

関連情報

ユーザーズマニュアルは、製品付属の AXIS ネットワークビデオ製品 CD または Axis のホームページ (www.axiscom.co.jp) からご覧いただけます。

ヒント！

www.axis.com/techsup にアクセスして、ネットワークカメラのファームウェアのアップデート版がリリースされているかどうか確認してください。現在インストールされているファームウェアのバージョンを確認するには、[Setup (セットアップ)] > [About (バージョン情報)] をクリックします。

インストールガイド

Ver.1.1

AXIS P5512

作成日 : 2011 年 11 月

© アクシスコミュニケーションズ株式会社、2011 年

パーツ番号 : 44946